

2026 年
1月号
108号

念慶寺だより

固定電話は住職の携帯
電話に転送されます

〒529-0341 長浜市湖北町速水 921 番地 【0749-78-0312】

新春のお慶びを申し上げます



境内を彩ってくれた伊賀黄蓮

新年正月元旦 午前8時30より

修正会・新年互礼会

確信するという罪

先日「教皇選挙」という映画を見ました。教皇選挙（コンクラーベ）とは、世界各地の候補者が集い、ローマ法王を投票で選ぶもので、完全非公開で行われています。

映画は票が割れる中、様々な陰謀や差別、スキャンダルがうごめきます。そして最後に選ばれた教皇は…という筋書きです。

私が惹きつけられたのは、選挙を仕切る筆頭枢機卿が選挙に際して語る説教でした。

「私は長く教会に仕えてきて、何より恐れるようになった罪が一つあります。／確信すること。／確信は人々の団結を阻み、そして寛容さをも失わせます。（略）我々の信仰が生きたものであるのは、疑いと手を取り合って歩むからです。もし確信だけで疑いがなければそこに神秘はない。信仰の意義もなくなります。／疑いを持つ教皇を神が与えますように。罪を犯しても赦しを請い、それでもなお、歩みつづける教皇を」

確信とは、自分が信じているものだけしかないということ。それは他の意見を排除する。どんなに素晴らしいものであっても、人を威圧するものでしかない。疑いを持ち、それでもなお、歩み続けていく豊かさを持ちたいものです。

修正会の仏花



新年の始まりにあたる修正会の仏花は、今回も笹付きの若竹を真にしてシンプルに整えました。節の一つに穴を開けて水を吸い上げるようにしています。

正面の前置きは大王松。英名のロングリーフパインの名が示すように、長い松葉が特徴で40センチ以上になることもあります。

その他にも葉牡丹や南天など正月らしい花材を用いて立てています。

修正会について【1月1日】

修正会と言えば、東大寺で行われる正月堂修正会が有名です。国家や日本の人々が一年のうちに犯した過ちや汚れを僧侶が一身に背負って懺悔し、世界を立て直していくことが意図されています。そして、その内容をより厳格に修行の形をとるのが修二会、最終日にはお水取りという儀式が行われます。



これに対して浄土真宗が行っている鎮護国家という意味合いは持たず、私一人の身を振り返り、軌道修正して新たな年を始めていこうとするものです。

共通するのは、共に過ちを犯してきたという人間観は共通するのかもしれませんが。心新たに望みたいものです。

三島多聞さんの書籍

報恩講の法話にお越しいただいたこともある高山の三島多聞さんから書籍をご恵贈いただきました。タイトルは『中村久子とお念仏』。幼い頃に出会った中村久子さんの生涯を追いつつ、これを善導大師が説いた「二河白道の譬え」を尋ねていくものです。ずっと温めておられた力作です。年明けに感想をご本人に送ります。

学習会が始まりました

全国いろんなところで定期的に行われている学習会があります。私は東京で行われている雲集学舎、能登僧侶たちとオンラインで毎月行っている師友の会、

そして、東京・姫路・島根の友人と行っている「曲読の会」という少し特殊な研究会、この3つに定期的に参加しています。そんな中、新たに木之本・高月の若手僧侶たちと『教行信証』を徹底的に学ぶ学習会を始めました。親鸞の言葉を一字一句見逃さず、真宗聖典を縦横無尽に開き、かつ最新の仏教学の成果や哲学・思想の言葉も取り上げます。先日、第1回を行いました。みなさん面食らっていた様子でした。続くかどうか心許ないですが、とにかく始まりました。

念慶寺ホームページ

念慶寺

検索

念慶寺のフェイスブックページ、速水馨のインスタ・ブログもあります。

住職携帯 090-8536-8533

メール kkhayami02@gmail.com



HPのQRコード